

最上位目標 「子どもの Well-being の実現」

学校教育目標 「心豊かに、自他を高め、章を成す」

～変化に向き合い、信頼される優しさを持ち、社会に貢献する～



# SEISHO PRESS

Trying for your dreams

佐賀市立成章中学校

学校だより 第3号

令和8年5月1日

文責 校長 馬郡直樹

学年目標  
紹介  
入学式

## 一步前進！ ～各ステージでの姿～

各学年の学年目標について、各学年主任の先生に学年目標及び生徒への思いについてインタビューしましたので紹介します。

### ◇ 3年生 井手俊和 先生

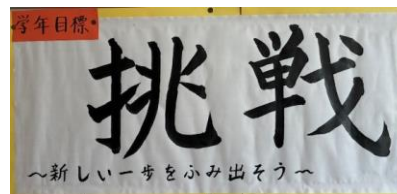
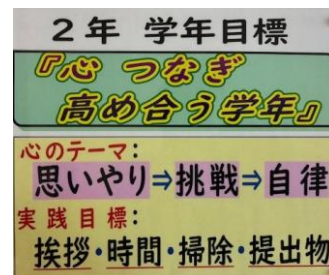
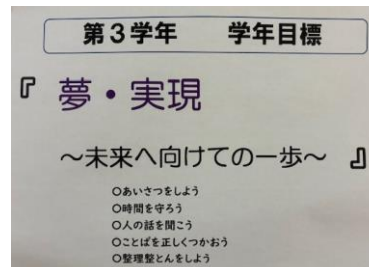
夢に向かって日々の努力を継続してほしい。その夢の実現のための一步を中学3年生で踏み出して、義務教育最終学年として最高の集団・個人に成長してほしい。

### ◇ 2年生 平田順次郎 先生

「心」(思い)を出発点として、よりより成長(行動)につなげてほしい。また、誰一人取り残さない、仲間と共につながり、認め合った互いに高め合う2年生に成長してほしい。

### ◇ 1年生 吉武敬子 先生

新しい環境や人との出会いがあり、不安もあるかと思うが、挑戦することで、行動が生まれ、目の前の現実が変わっていくので、失敗を恐れずいろいろなことにチャレンジする生徒や集団を目指してほしい。



### 《令和8年度成章中サポーターズクラブ(SSC)総会開催》

4月24日(金)に授業参観、SSC総会を開催し、多くの保護者の方に来校していただきました。ありがとうございました。SSC総会では、令和8年度の新会長はじめ、3人の新副会長が承認されました。また、令和8年度は佐賀市PTA協議会活動の休止、そして令和8年度末での脱退が決定しましたので合わせてお知らせをします。引き続き、子供たちの健やかな成長のためにご支援をよろしくお願ひします。

また、校長からは学校教育目標の説明と2つのお願いをしました。以下その概要です。

学校教育目標は、「心豊かに、自他を高め、章を成す」。生徒主体の取組を推進していきたい。個人として集団として、挑戦を重ね、時には失敗を経験することに学びがあり、それが成長につながると考えている。

お願いその1。令和7年度、登下校中の交通事故が11件発生。学校として引き続き、生徒へ啓発・指導していく。時間に余裕をもった行動(特に朝)ができるように、ご家庭の協力をお願いしたい。

お願いその2。「子どもたちの安全や命を守ること」は第一の校長の使命であり、それと同じくらい「教職員の命、健康を守ること」も校長の大切な仕事。教員の元気・健康が生徒へのいい支援・指導につながる。保護者の皆様が相談したいことがあれば、遠慮なく学校へ御連絡を。保護者と学校が連携し、お子様の成長を支えていきたい。ただし、時間外(16時40分以降)の急な電話や来校については、命に関わることなど重大なこと以外は控えていただきたい。

## ◇◇◇防犯教室開催◇◇◇

暴力団員等の不当な行為による被害防止のほか、薬物乱用防止、交通ルールの遵守など、生徒の健全育成を目的として、4月15日（水）に全校生徒を対象とした防犯教室を実施しました。

前半は佐賀市生活安全課永富さんから「自転車は車両であるため、車道の左側を通行し、例外的に歩道を通行することができる。ヘルメットは通学中以外でも被ってほしい。」と交通安全について講話がありました。後半部分は佐賀県警人身・安全少年課少年サポートセンターの溝辺さんから闇バイト、薬物乱用など暴力団に関することについて以下のような講話をしていただきました。

暴力団は、暴力や脅しによって自分たちの利益を得ようとする組織であり、人数は減少しているものの、今でも全国に存在し、佐賀県内にも組織がある。暴力団は、恐喝や詐欺、違法な商売などで資金を得ており、最近ではSNSを利用した「闇バイト」で若者を犯罪に巻き込むケースが増えている。高額報酬をうたう求人や、個人情報を送らせる仕事には注意が必要である。また、薬物の販売にも暴力団が関わっていることが多く、一度関わると抜け出せなくなる危険がある。誘われてもきっぱり断り、怖い時は逃げて、必ず信頼できる大人や警察に相談することが大切である。

生徒の感想は、3年2組 〇〇さん「標識に気をつけて、自転車に乗ろうと思う。また歩道を通れるときなど、なるべくゆっくり、歩行者優先で安全に運転しようと思う」。3年2組 〇〇さん「薬物はデメリットばかりだし、使用しないようにしようと思った。一回使用しただけでも犯罪になるので悪いことしかないと思った。」でした。

## 第50回「江藤新平卿」銅像まつり開催

4月11日（土）神野公園において、明治政府で初代司法卿を務め「近代司法制度の父」とされる江藤新平を顕彰する祭りが、佐賀市観光協会役員や坂井佐賀市長、江藤さんの子孫など60名ほどが参加し、江藤の功績・人となりを偲んで開催されました。

式典の中で、3年 〇〇さんが「江藤新平への手紙」を朗読しました。以下要約したものです。「昨年度の授業で、江藤新平が日本の法律や裁判制度の基礎を築き、三権分立による公正な政治の仕組みづくりに尽くしたことを学びました。また、佐賀戦争では、自ら争いを望んだのではなく、仲間を思う気持ちから行動したことを知り、その人柄に深く感動しました。悲しい最期を迎えたものの、その功績のおかげで今の日本の安心した暮らしがあると感じています。私も江藤新平のように、人々のために行動できる人になりたいと思いました。」

式典後、東京からこの祭りのために帰省されていた江藤の子孫の女性（70年前の成章中卒業生）が、〇〇さんの作文に大変感動されており 〇〇さんに対してお礼の言葉を送られていました。

また、小学生を対象にした「江藤新平スタンプラリー」に3年生10人がボランティアとして参加し、大活躍でした。ボランティアとして参加した3年 〇〇さんの感想は「クイズラリーに参加する地域の方々がとても楽しそうにしているのをみて、私も笑顔になりました。このようなみんなが楽しく笑顔になれるようなイベントにまた参加したいです。」でした。

画像については、配布した学校だよりにてご確認ください。

手紙の朗読の様子=神野公園